

# scenario Notes

シナリオノーツ

## ako tsubasa

阿児 つばさ

2024年6月29日〔土〕— 7月21日〔日〕 「水」・「木」休廊  
13時—19時 ※ただし毎週土曜日のみ10時—19時

その他のイベント情報などはギャラリー・パルクのHPやSNSで確認ください



この期間のパルクでは、阿児さんによる日々の「手入れ」の様子をみる事ができる。

その日々は、伸びたり、様々な方向に分かれて形を変えたり、私にとって初めて見る形をしている。

阿児さんはそれを放ったり、伸びた部分を切ってみたり、収穫したり、収穫したものを料理して食べてみたりしながら、よく育てているようである。

平野 春菜

## Gallery PARC

2014年に京都精華大学デザイン学部を卒業した阿児つばさ(あこ・つばさ／1991年・兵庫県出身)は、これまで「scenario」(FINCH ARTS／京都,2023)、「SUBJECT」(HOTEL ANTEROOM KYOTO Gallery9.5／京都,2020)、「札幌国際芸術祭」(札幌市資料館アートトリサーチセンター/音威子府村／北海道,2018)、「氷橋幌」(札幌500m美術館／北海道,2018)、「花路里と花路里 / PEGASUS / どこやここ」(3331 Arts Chiyoda／東京,2016)などでの発表の他、2022年9月から2023年6月まではフランス政府とヴァルドワーズ県の奨学生としてパリ・セルジー国立芸術大学に在籍していました。

阿児は「タイトルと共に日々を過ごすという表現手法」＝「scenario(シナリオ)」という方法を用い、そこから多様なメディアや手法によるインスタレーション(と呼ぶことのできる)作品やパフォーマンス(と呼ぶことのできる)作品へと展開しています。たとえば、北海道・美幌にある「花路里」というスナックを巡るとも私的な物語をもとに、それらを「つくること」で追いかけた「花路里」や、北海道・音威子府村に60年ほど前まであった氷橋(川面を覆う氷を切り、それを架けて橋にする)を眼差した「氷橋幌」など、阿児は個人的な体験や私的なつながり、それにともなうオブジェクトや造形物などの一連を「作品」としてきました。それらは一見してとりとめなく、理解しにくく、答えのない、いわゆる「わからない」ものですが、阿児はその「わからなさ」から出発し、目を凝らし、手で探り、あれこれと思う姿を通して、鑑賞者に『「わからなさ」がある』ことを認識させます。

本展「scenario Notes シナリオノーツ」は、ギャラリー・パルクを期間限定の阿児のアトリエとして、過去の作品にまつわるもの、現在の取り組みや活動を知ることのできるものを広げてみることで、「これまで」「いま」「これから」を見つめてみようとするものです。このアトリエは、これまでに作品をともにしてきたものたちの仮置き(展示)の場であるとともに、阿児と来場者にとっての芸術や学術の対話の広場であり、子どもたちと大人たちがともに工作する場でもあります。また、『素材や存在を取り扱うことへの課題から、かたちに残す作品制作にこたえが見つからないでいる。ことばを残す紙を知り、本を知り、ことばを知り、色を知り、本をつくらうとしている』と考える現在の阿児にとって、『本』をつくらうとするための機会でもあるといえます。

要するに本展は「○○を見せます」「○○を伝えます」といった目的や結果を約束するようなものではなく、見えているものや見えていないものを起点に、対話や思考などを「何かをはじめてみる」ことを願ったり、促したりする機会といえます。

間違っているかもしれませんが。今日はそう思います。

展示会場が「阿児つばさのアトリエ」である本展では、毎週土曜・日曜・月曜を中心に下記の内容の「日」が設定されています。詳しくはギャラリー・パルクのSNSで確認ください。

### 「オープニングイベント」

6月29日〔土〕

10時～11時・阿児つばさによる作品についての話

11時～14時・廃材でつくろう! まち、モンスター、プラカード、わたし!

15時～16時・阿児は京都市役所から出発するパレスチナ連帯デモに参加。

17時～18時・鴨川(三条大橋下)にて京都市の美術家有志の会(小田原のどか、阿児つばさ)による活動報告集会

18時～21時・鴨川(三条大橋下)にてオープニングパーティー

### 「創作活動の日」

会期中の毎週土曜日(6月29日・7月6日・13日・20日) 10時～14時

廃材でつくろう! まち、モンスター、プラカード、わたし!

まちでもらってきた廃材を使ってそれぞれにつくりたいものをつくる事ができます。ゲストにこどもとアトリエSKOG(スコーク)、社会運動部 Demo Demo Kyotoが来てくれます。阿児つばさもいます。お昼ごろに美味しいケータリングもあります。つくらなくても、ごはんだけでもふらりとのそいでみてください。

### 「対話の日」

会期中の毎週日曜日(6月29日・7月7日・14日・21日) 16時～18時

阿児つばさが気になっているテーマを設けています。

集まった人で話ませんか? もちろん聞くだけでも歓迎です。

6月29日は、「京都市の美術家有志の会(小田原のどか、阿児つばさ)活動報告集会、身近な社会運動の実践から暮らしを考える」、7月7日は「フェミニズムと資本主義(仮)」、7月14日は「森の歴史と気候危機(仮)」、7月21日は「言語政治学(仮)」などです。内容や詳細など確定したらギャラリー・パルクSNSなどで発表します。ぜひ。

### 「作品について話す日、楽器の練習をする日」

会期中の毎週月曜日(7月1日・8日・15日) 18時～19時

阿児つばさが作品にまつわる話をします。また時間帯は問わず、自作楽器の練習などをしています。

どうぞ一緒に。

各イベントの詳細情報などは、ギャラリー・パルクのHPやSNSで確認ください。

私の作品制作はタイトルをつくることから始まります。

気になっていることや関心のあること、ある程度蓄積された経験、まだつくっていないものごとを思い浮かべ、言葉を当てます。その言葉を何度も疑い、調べ、納得のいくまで変化させます。そうしてタイトルとともに日々を過ごすことが作品制作のおおよその時間です。

発表の形式や空間の特性によって、日々の断片が連なるように、様々なメディアとともに風景をつくります。

次にどこに行くか、誰に会うか、何をするか。そうした一歩先の「シナリオ」を表現として共有するため、作品をつくっています。

#### [本展について]

本展会場は阿児のアトリエを想定して空間構成したもので、「何になるかわからないもの」が置かれている。阿児と来た人にとっての芸術、学術ひろばであり、作品展示の場でもあります。

風景はいかにつくられるか、私(たち)はその断片を記憶できるか、私(たち)はその連なりを記録できるか。これまで「シナリオ/scenario」、「デイ シナリオ/day scenario」、「シナリオノーツ/scenario Notes」として試みてきた。

素材や存在を取り扱うことへの課題から、かたちに残す作品制作にこたえが見つからないでいます。

ことばを残す紙を知り、本を知り、身体を知り、色を知り、社会を知り、ことばを知り、本をつくらうとしています。

阿児つばさ

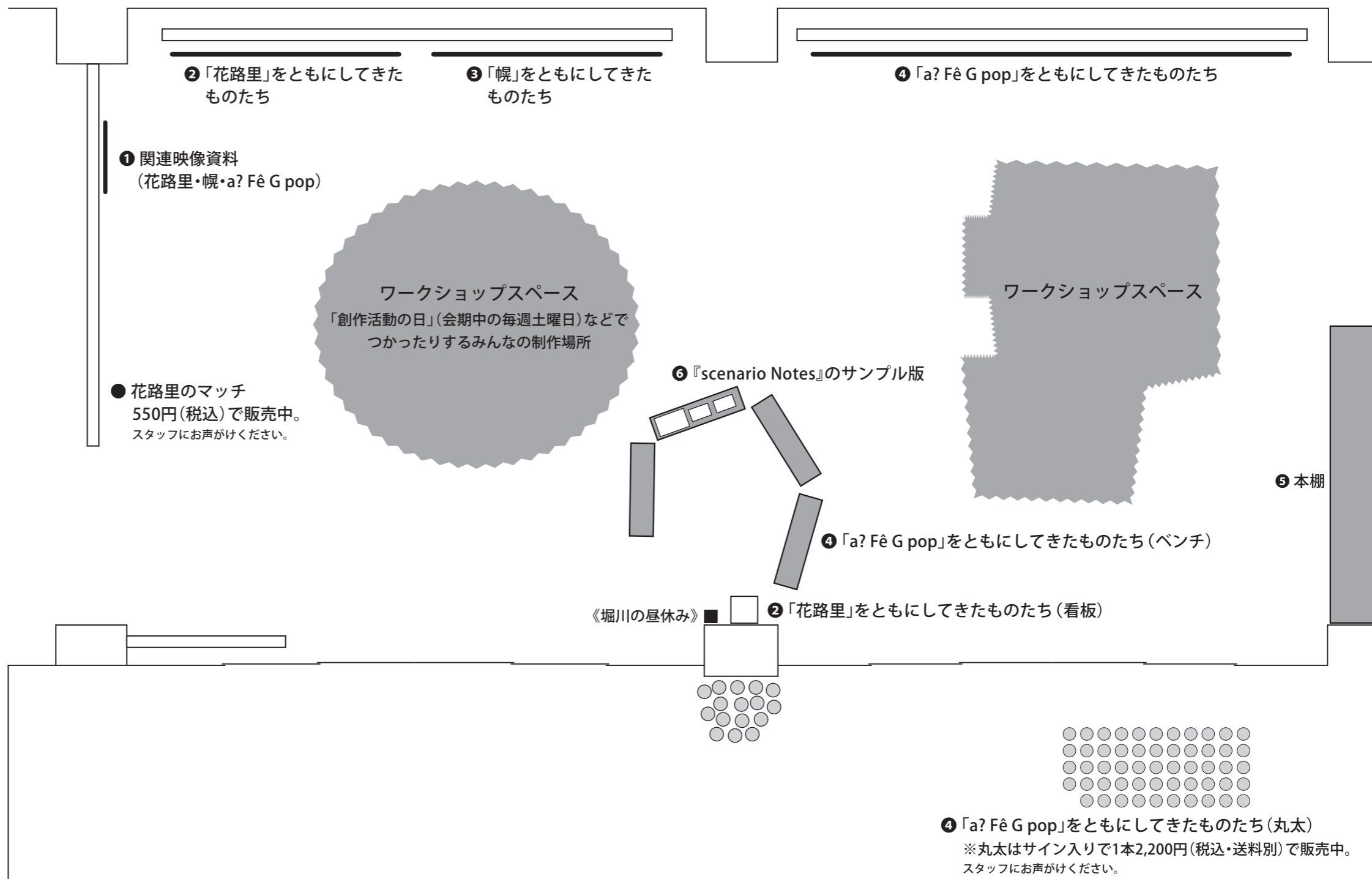
#### [C.V]

阿児つばさ | Tsubasa Ako

1991年北海道生まれ、兵庫県出身。2014年京都精華大学デザイン学部卒業。タイトルと共に日々を過ごすことを「シナリオ」という表現手法とし、様々なメディアを扱ったインスタレーション作品、パフォーマンス作品へと展開する。

2022年9月から2023年6月までフランス政府とヴァルドワーズ県の奨学生としてパリ・セルジイ国立芸術大学に在籍。

主な作品出展に、「scenario」(FINCH ARTS、京都、2023)、「札幌国際芸術祭」(札幌市資料館アートとリサーチセンター/音威子府村、北海道、2018)、「花路里と花路里/ PEGASUS / どこやここ」(3331 Arts Chiyoda、東京、2016)など。



#### ① 関連映像資料

花路里、幌、a? Fê G popの関連映像  
Day Scenario "apolo" / Performance / 2017 ...③

#### ② 「花路里」をともにしてきたものたち

阿児が祖母から聞いた「花路里(かろり)」という言葉をもとに2015年に制作した作品《花路里》。  
言葉にあった「花」「路」「里」について、それまであまり関心なかったことや一致するイメージが思い浮かばなかったことから、世代間で共有する風景の違いへの関心や違和があり、それらを観察、記録、想像することを行なう。  
「花路里」の言葉の意味や出どころがわからなかったことから、阿児が様々なことを手がかりとして「花路里」を創作することを試みる。

#### ③ 「幌」をともにしてきたものたち

阿児の出生地である北海道の「美幌」と2016年3月-2018年3月ごろまで制作拠点としていた「札幌」の地名に共通する言葉「幌」をもとに制作した作品。  
現在の北海道地名にあるアイヌ語から土地の風景や歴史を調べ、現代に想像することを制作を通して行う。アイヌ語で「poro / ポロ」とは「大きい:多い」を意味する\*。  
また、現在当てられた漢字や読みを解体し、でたらめとする創作を通して土地と阿児の関わり方を模索する。  
\*知里真志保. 地名アイヌ語小辞典. 北海道出版企画センター, 2004.

#### ④ 「a? Fê G pop」をともにしてきたものたち

a? … 家、生活、準備  
Fê … 他者  
G … 地球  
pop … 言葉、政治

2018年に「作品制作」や「展覧会」のもっと前のことを考え、つくることにした作品。  
つくり方も何が必要なのかも手探りに、私の体でここに生きていくことを調べるために、作品がここに存在していくことを調べるために。

#### ⑤ 本棚

阿児の持ち込んだ本があります。ご自由にお読みください。

#### ⑥ 制作中の本『scenario Notes』のサンプル版

ベンチの上に現在に阿児が制作中の本『scenario Notes』のサンプル版があります。こちらもご自由にお読みください。  
『scenario Notes』の予約販売(9月下旬発送予定)も受付中。  
価格は6,600円(税込・送料込)。9月下旬のお届けとなります。  
※2023年8月11日-9月3日に京都・浄土寺のFINCH ARTSでの個展「scenario」で予約販売されたものと同じものになります。